



おおとりっ子 No.2

平成 28 年 5 月 18 日 発行

- ㊦ おきな ころろざしをもって
- ㊦ おらかな 心で
- ㊦ もだちを 大切にしながら
- ㊦ きみすぎず、
- ㊦ ねに 前向きで
- ㊦ れからも 成長を続ける

おおとりっ子

これはアクロステック（折り句）に似た「あいうえお作文」です。よく、自分の名前で作ることがあります。宿題などで作ったことはありませんか。子供たちはうれしそうに大人にはない発想でいろんな文章を考えます。なぜ楽しいのでしょうか。それは、自由な想像力を発揮できるからかもしれません。決まりが単純で、分かりやすいからかもしれません。でも、文章をつくるにはそれなりの言葉、語彙力が必要です。学習でも同じです。基礎・基本ができていないのに自由にしろといってもなかなかできるわけがありません。そこで、本校では基礎・基本を大切に計算、漢字、運動練習を行っています。学習の基礎・基本といえば実はそれだけではありません。「鉛筆、下敷き、ノート、教科書などの学習の準備」、「読み、書き、話す姿勢と態度」、「落ち着いて話を聴く態度」、「自分の意見を順序よく分かりやすく伝える力」・・・すべては日頃の生活の中から鍛えられ、培われるものです。

子供たちが楽しく学習や運動を行い、健やかに成長できるようにこれからもご理解とご協力をよろしくお願いします。

- ㊦ とりでは長続きしないことも
- ㊦ くらく楽しくできるのは
- ㊦ わりの友達や家族、地域、学校が一つになって
- ㊦ っしょに励まし合い、頑張っているから

平米小の子供たちは笑顔で元気なのです。



第 104 回 創校記念式での祝芸（6年 おおとりの舞、5年 獅子舞）

継続は力なり

よく「継続は力なり」と聞きます。その意味を調べると、諸説ありますが

- 個々の成果は微々たるものであっても、地道に成果を積み重ねていけば、やがて大きな事業を達成できる。目標を達成できる。
- 今は実力不足であっても、挫けずに修練を積んでいけば、いずれ大成できる。
- 物事を成し遂げるまで諦めずに取り組み続けるということは、それ自体、優れた能力のひとつである。

とありました。

理屈では分かるのですが、難しいことです。でも、つい先日、なるほどと感心したことがあります。

それは吹き矢についてです。よく忍者が短い筒から吹き矢を飛ばし、毒を塗った矢が当たる場面をテレビで見たことがあります。しかし、それは無理なのだそうです。何が問題かという、筒の長さです。狩猟民族が使用する矢の長さは1メートルから3メートルだそうです。なぜ、そこまで長くなるかというと、科学的には力積で説明するそうですが、結局、力を加える時間を長くすることによって威力が増し、遠くへ飛ぶのだそうです。

つまり、少しでも長い時間、吹き矢を筒の中で押し続けることによって吹き矢が勢いよく遠くにとぶということです。そこで、簡単ですが実験してみました。用意した物は、ストロー1本、ストロー4本をつなげた物（吹き矢の筒にしました）、マッチ棒です。

ストロー1本にマッチ棒を入れ飛ばしてみると、思ったより遠くに飛びました。（3メートルぐらい）では、ストロー4本をつなげた物にマッチ棒を入れて飛ばしてみるとどうでしょう。なんと、勢いよく倍の6メートル近く飛びました。（校長室にて一人で実験している様子を今思うと、なんだかはずかしくなります。）

つまり、一つの物により多くの時間をかけることにより、その力が倍にも数倍にもなるということです。調べてみると、球技でもボールに力を加える時間を長くすることでスピードが増すということで、ピッチャーの投球やテニス、サッカー、ボーリングなどに応用しているそうです。この他にも竹とんぼを上手に飛ばすコツやコマ回し、ブランコなどにもこの考えが使われているということです。

話はそれたようにも見えますが、この考えは心や体、頭を鍛えることにつながっているのではないのでしょうか。小さな力でも続けて行うことで、それが大きな力となって発揮できる日がくることでしょう。また、粘り強さも鍛えなければ強くなりません。

今までおとりっ子は勉強や運動をあきらめず、続けて練習してこそ、その力を発揮してきたのです。やはり、「継続は力なり」なのです。



マ ツ チ 棒	ス ト ロ ー 1 本	ス ト ロ ー 4 本
------------------	----------------------------	----------------------------

— 運動会のスローガンが決まりました —

「最後まで 仲間と全力で 優勝を目指せ」

チームの一人一人が最後まであきらめず、仲間と協力し合い、優勝を目指そうという願いが込められています。運営委員会が中心となって、各クラスの意見を元に決定しました。

各団長等の紹介も終わり、運動会に向けて全員が一つになろうとしています。